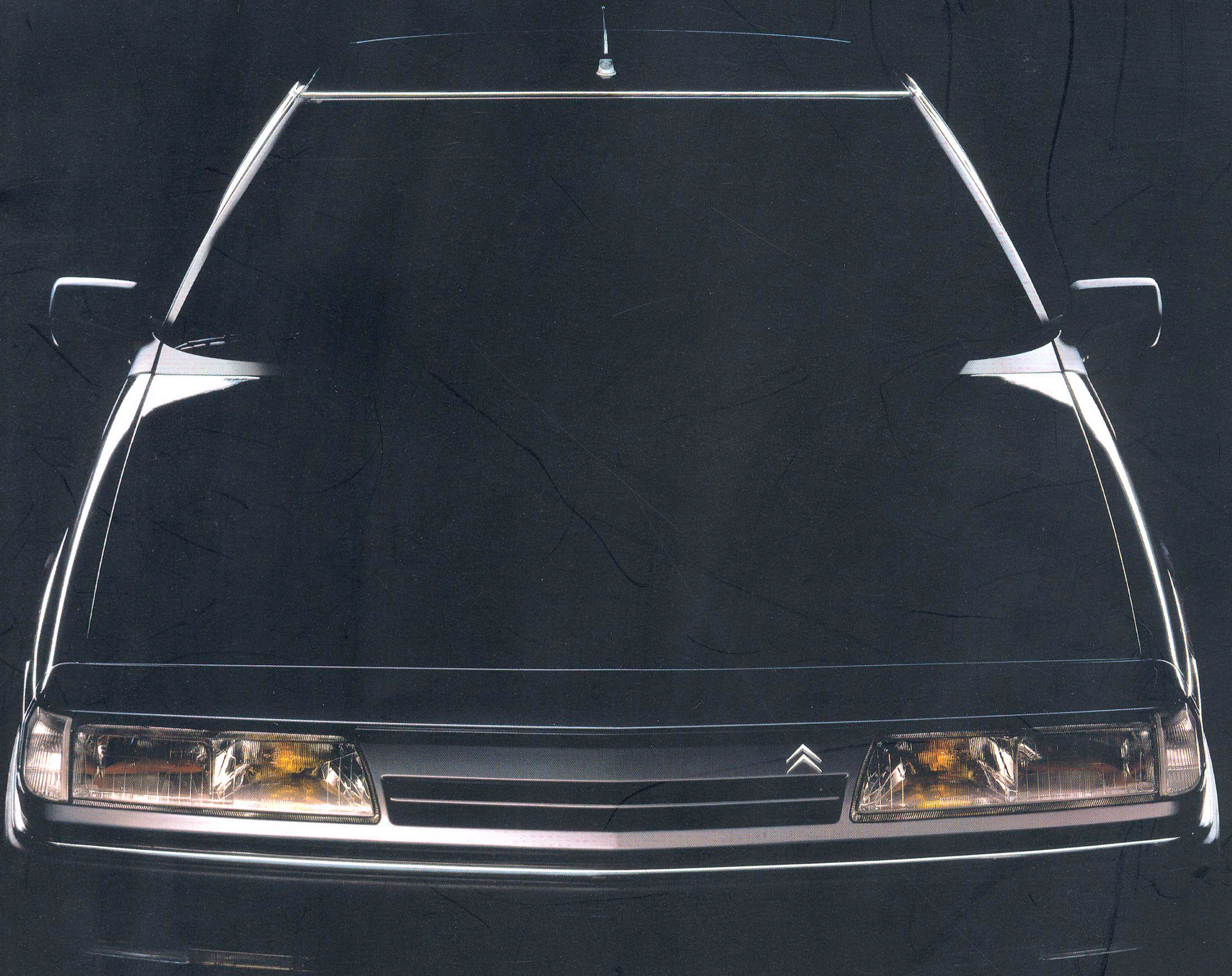


CITROËN
XM



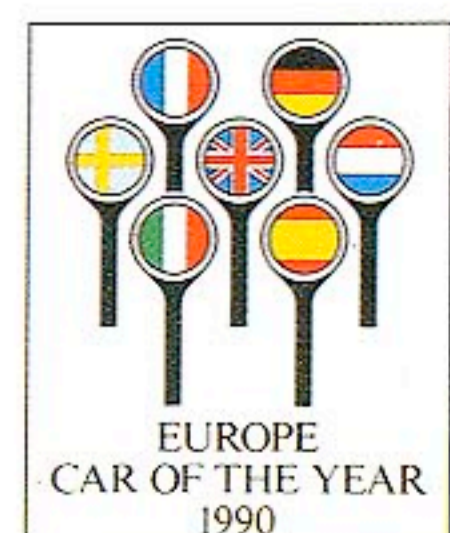


CITROËN XM
STYLE & TECHNOLOGY

1919年、タイプAという第1号車を発売して以来、シトロエンは一つの時代にもその時代をリードする高級車を数多く送り届けてきました。戦後では1955年のパリ・サロンで発表され、当時もつとも未来的であると評価されたDS。そしてフランスのプレステージカー、往時のカーマニアの垂涎の的ともなったV6エンジン搭載のSM。さらには美しいエアロボディのなかに、進化したハイドロニューマチックを積み、1974年の登場以来ロングセラーを続けたCX。このようにシトロエンの歩んできた道は、まさに名車の道といえるでしょう。そして今、この名車の道を新たな名車が走り始めます。シトロエンのニュー・フラッグシップカー：シトロエンXM。

20余年の信頼と実績。 シトロエンのニュー・フラッグシップカー XMも私たち西武がお届けします。

シトロエンXMの2つの特長、それはスタイルとテクノロジーです。空力の追求から生れた流麗なフォルム。衝撃的なデビューを飾ったシトロエンSMのイメージをサイドラインに残しながら、しかも個性と美しさで見る人の目を完全に魅了する、新しいXMのスタイルです。そしてシトロエン伝統の足「ハイドロニューマチック」をさらに進化させた電子制御のハイドラクティブ・システムと、V6・3000の高性能エンジンを搭載した最新で、最先鋭のテクノロジー。このスタイル&テクノロジーで全身を固めたシトロエンの最上級モデル：XMが、1990年のヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤーという栄誉を掌中にして日本上陸。シトロエンを日本に紹介し、シトロエンとともに歩んで20余年、厚い信頼をいただき、永年の実績を誇る西武自動車から皆様のお手元にお届けします。



ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤー
ヨーロッパ各国の著名ジャーナリストが専門家としての厳しい
目で選ぶことも権威ある賞。シトロエンとしては71年のGS、75
年のCXに続いて3度目の受賞となる。

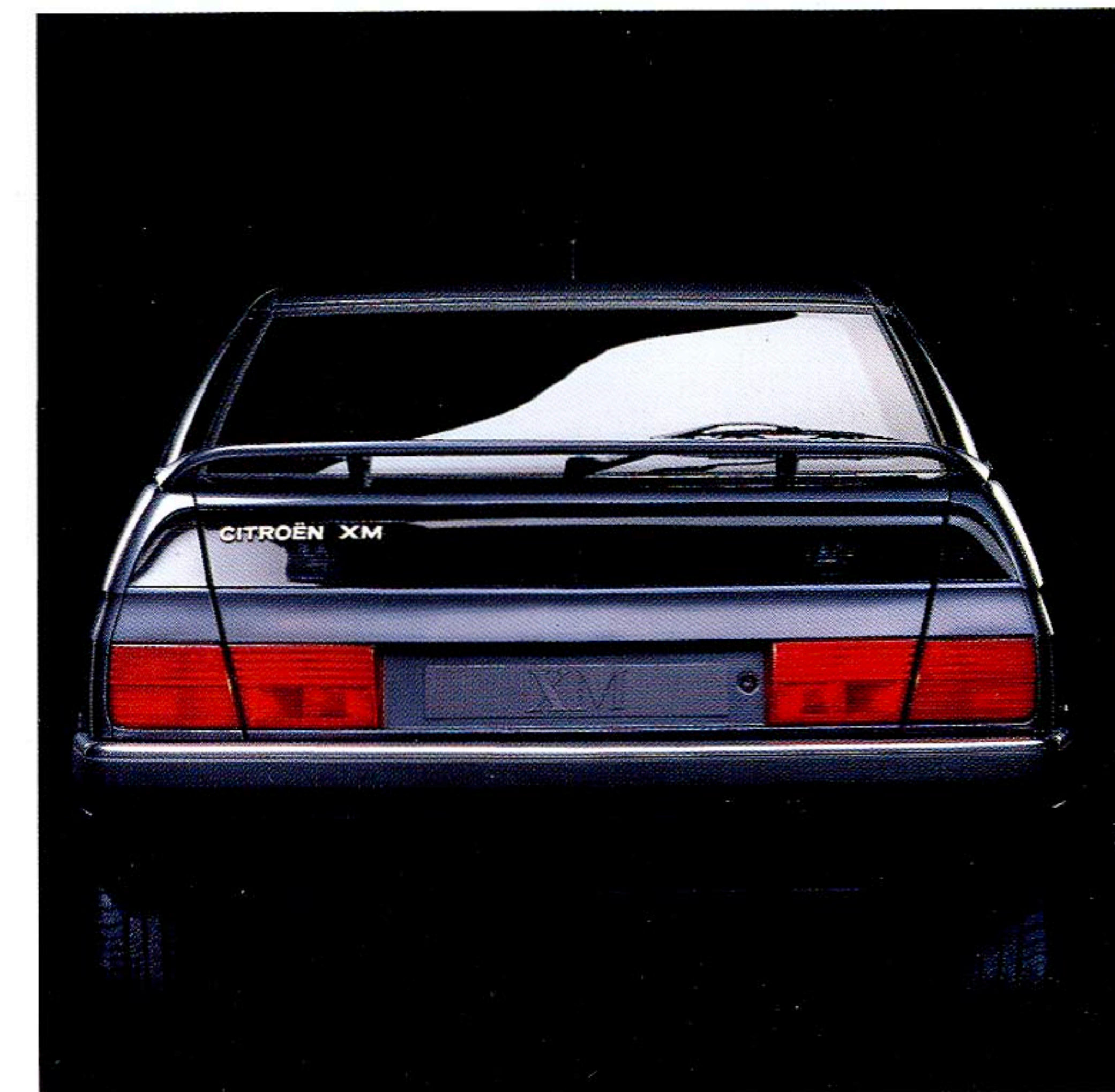
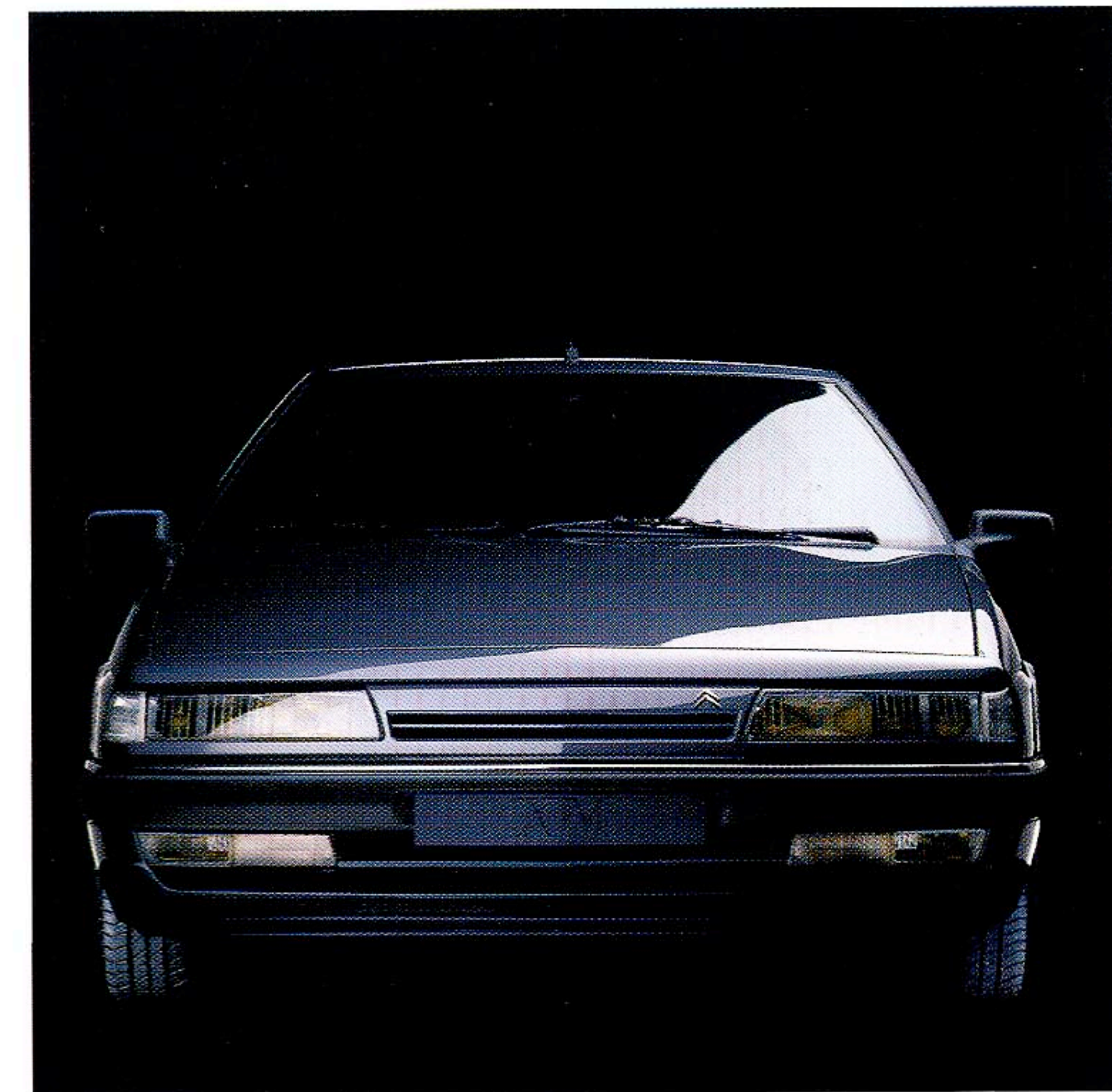


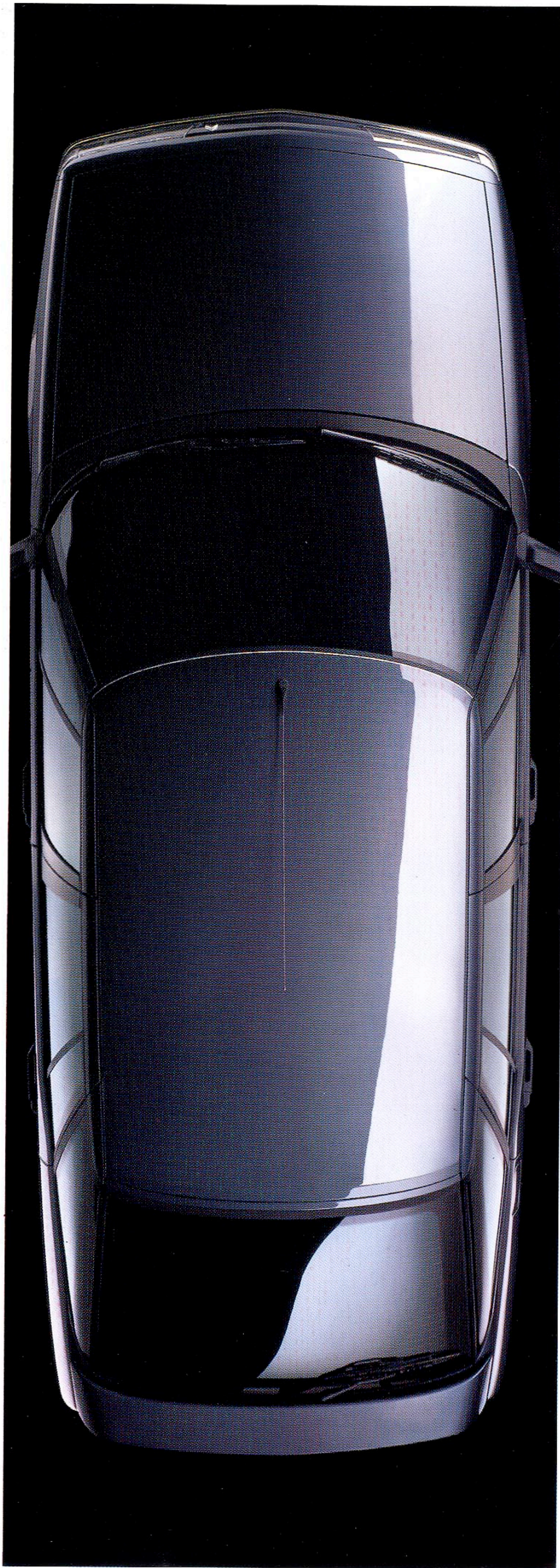


モータリゼーションの発展のなかで、シトロエンほど多くの革新とデザインを提唱したメーカーは他にない、といっても決して過言ではないでしょう。それはシトロエンがクルマをたんに輸送手段のための道具として捉えるのではなく、人々の暮らしのパートナー、あるいは人生のパートナーとしてクルマを考え、クルマづくりを進めているからといえます。いろいろな暮らしや生き方があるように、クルマにも自由な発想があるべきだ。シトロエン車の革新的なメカニズムや独創的なフォルムはすべてこのポリシーから生まれているのです。

革新。それはいつもシトロエンから始まる。

シトロエンの革新。新しいXMも見事にこのテーマを受け継ぎました。BXと同様にカーデザイン界の巨匠、ベルトーネの手になる流麗なエアロフォルムは、従来のシトロエン車をさらに昇華させて、空気抵抗係数Cd:0.28を達成。この数字こそこれからのカーデザインの指標になるでしょう。また1954年以来、次々と受け継がれ培われてきたハイドロニューマチック・サスペンションは、このシトロエンXMでさらに磨きがかけられました。コンピューターを導入することにより、路面の状況をはじめブレーキ、ハンドリング、アクセルワークなどドライバーの動作を検出、分析して「瞬時に」最適なサスペンション状況を得ることに成功しています。つねに革新を求めるシトロエン。シトロエンを超えるのはシトロエンだけです。





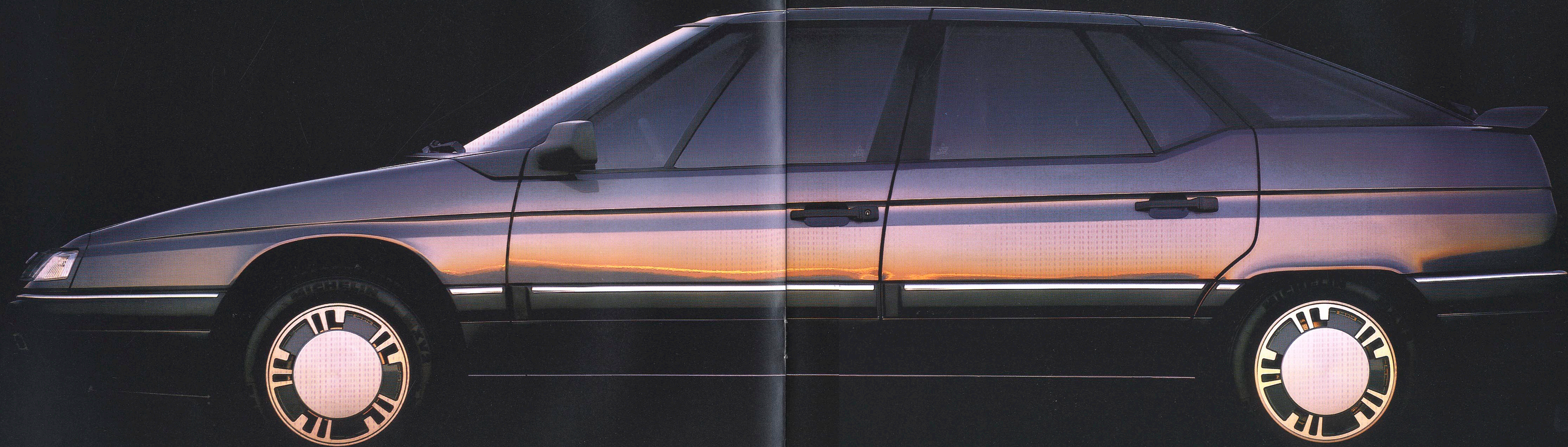
シトロエンXMのスタイルを語るときに、イタリアのカロッツェリアを代表する巨匠：ヌッチオ・ベルトーネを忘れることはできません。世界の名車の多くを手掛け、日本でもその手腕と感性を高く評価されているベルトーネは、このXMにひとつのテーマ「クリスタル・ベルト」を息づかせました。各ピラーとウィンドーフレームを完全にフラッシュ・サーフェス化させ、さらにフロントウィンドーとリアウィンドーを、三次元曲面のサイドウィンドーで結び、ボディ全周をガラスで囲っているのです。

機能的だから価値がある。ベルトーネの「美」。

この流れるような「クリスタル・ベルト」はたんに目を奪う美しさを創造しただけではありません。ドライバーやパッセンジャーにパノラミックな視界を提供し、さらに光りと風に満ちた快適な居住スペースも与えています。そしてこのフラッシュ・サーフェス化されたウィンドー処理とスラントノーズ、フラットボンネットによる造形は、空気抵抗係数Cd:0.28という衝撃的な数値を発揮するほか、風切り音の低減、高速燃費の向上、さらには横風安定性、ハンドリング特性の向上も実現しています。

そしてもうひとつ、ドアにご注目ください。ホイールベースを有効に使った大きなドアは、流れるボディラインに組み込まれ、風切り音を抑えるだけでなく、優れた乗降性も実現しているのです。美しさのなかに秘められた卓越の機能。ベルトーネ・デザインの真髄がここにあります。









さあ、ドライバーズシートにお座りください。シトロエンXMのインテリアでまず最初に感じることは室内の広さでしょう。ベルトーネのエクステリアデザインからも想像できたように、大きくカーブを描いた3次元曲面のガラスエリアはゆりのショルダースペースを生むと同時に、広くオールラウンドの視界も提供し、快適性、安全性の向上に役立っています。そして計器盤にはスピードメーター、タコメーター、燃料計、水温計、油量計、各種インジケーター類が機能的に見やすくレイアウトされています。さらにエレクトロニック・ディスプレイパネルも標準装備。時刻、外気温度、燃料残量などのほか、平均車速や平均燃費などをボタン操作ひとつで順次表示させることができます。

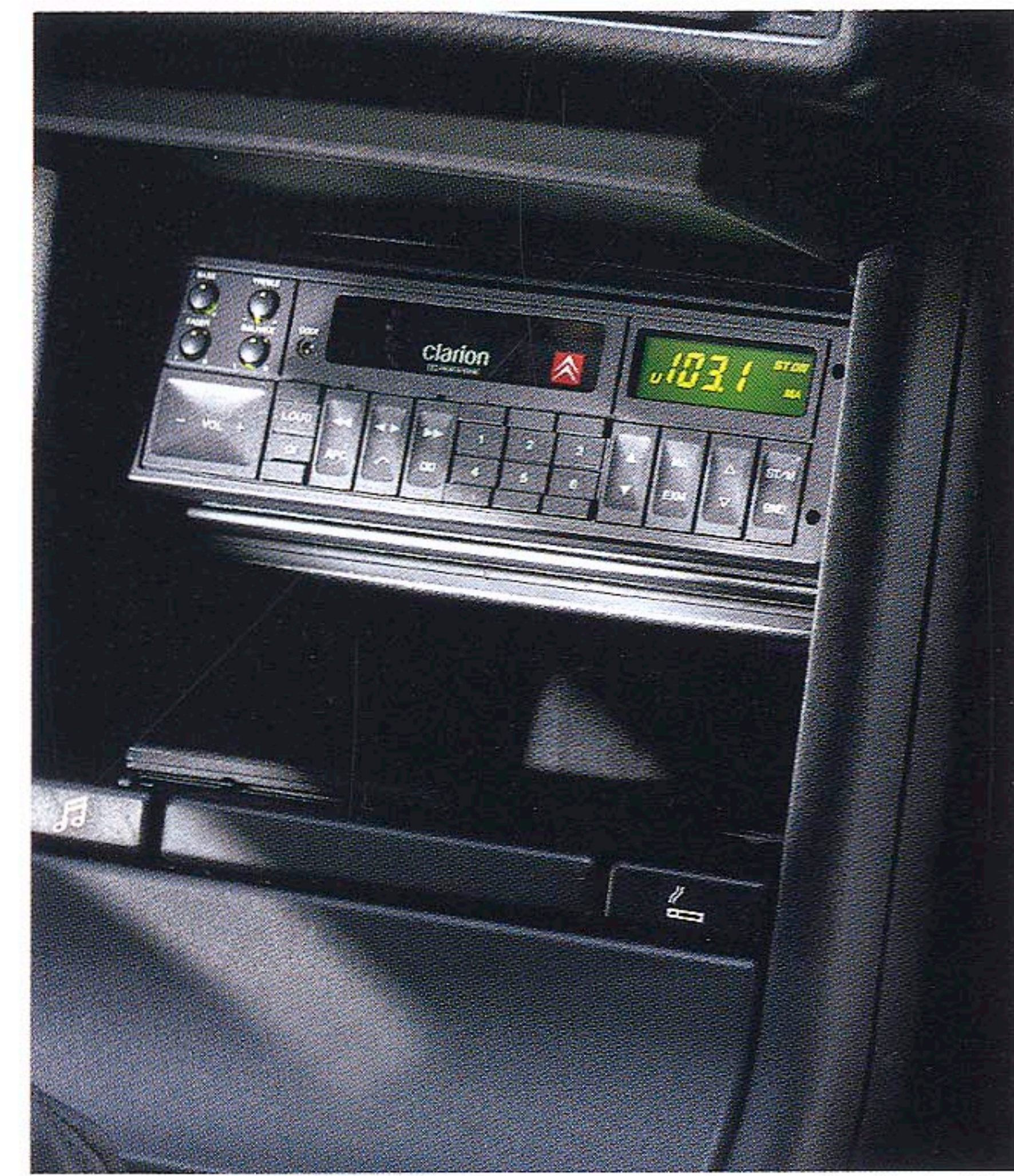
すべての情報をこのコックピットで。 ヨーロッパの知性。

ステアリングにはチルト&テレスコピック機構を採用。つねにベストな運転姿勢を提供します。さらに6スピーカー・オーディオセットのコントロールスイッチをステアリングに内蔵。運転中でもステアリングから手を離すことなく、手でスイッチ操作をすることができます。

そして注目していただきたいのは、XM独自のハイ・セキュリティ・イグニッションシステムです。これはドアロックと連動し、ドアをロックした後はあなたが事前にセットした4桁のコードナンバーを入力しない限りエンジンが始動しない機構。盗難防止に大きな威力を発揮することでしょう。

また、キーレス・エントリー付きのイグニッションキーは軸が十字型のデザインになっており、従来のキーと比べて26倍ものバリエーションを作ることができます。日本国内では同じ組み合わせのキーは皆無に等しいといえるでしょう。

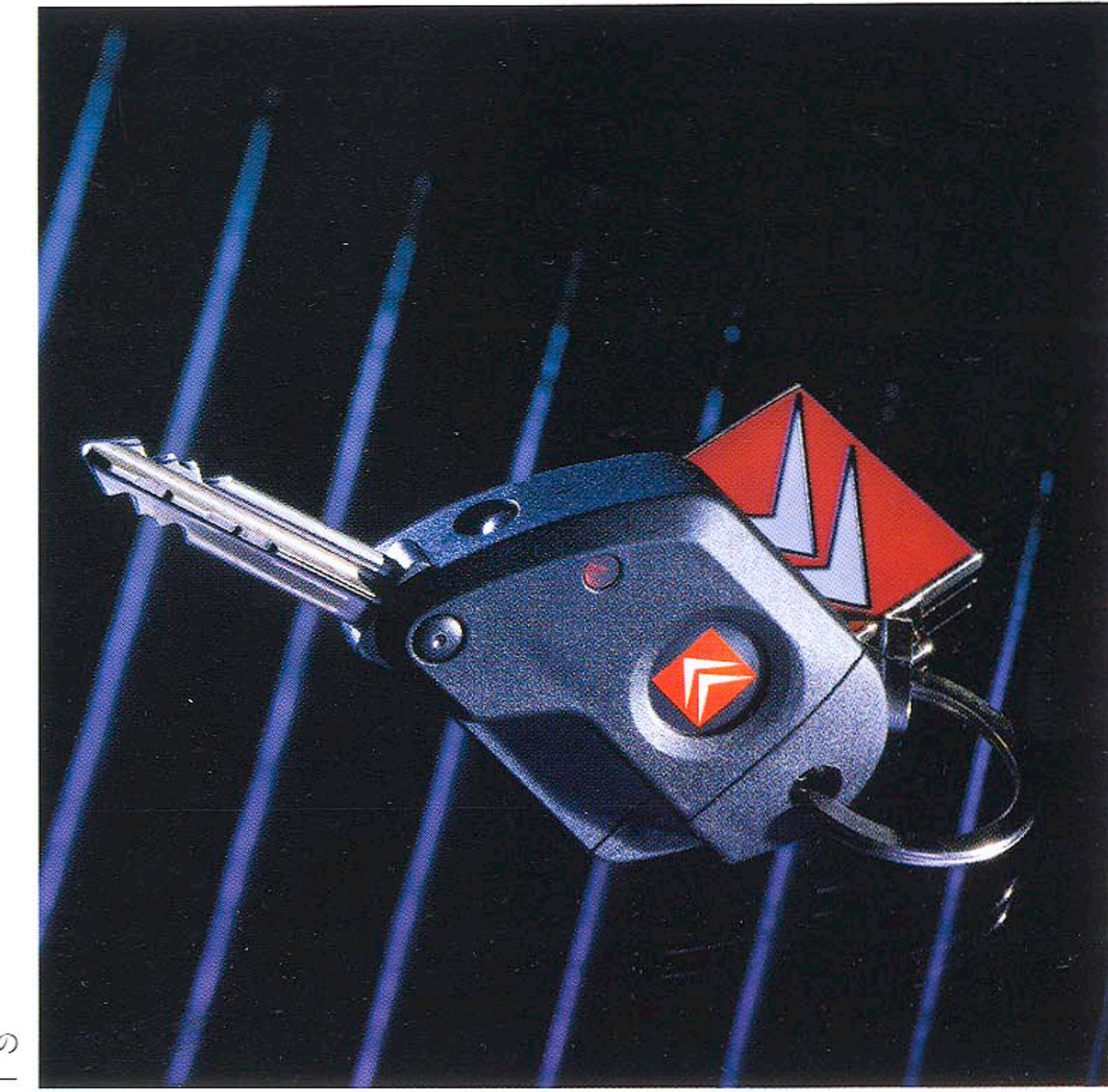
またオーディオや灰皿、シガーライターなど、操作頻度の少ない装備にはリッドを付けてシンプルなデザインを心がけていることもシトロエンの特長です。飾り立てることを嫌う、この大人の知性をヨーロッパの心。賢明なシトロエンXMのオーナーならご理解いただけることでしょう。もちろん詳細を記すまでもなく、ニュー・フラッグシップにふさわしい華麗で豊富な装備、例えばオートエアコン、ドライブ・コンピューター、前後席のセンターアームレスト、パワーウィンド、電動ドアミラーなどはすべて標準装備。さらにXM-Xでは電動サンルーフをはじめ、本革でしかもヒーター付シート、電動アームレストなども装備して、操作性、快適性をキメ細かく追求しています。



オーディオパネル



高さ調節可能なシートベルトアンカー



キーレスエントリーシステムの
リモコン装置付メインキー





一般的にヨーロッパ車のシートは国産車のシートと比べて少し固いといわれています。シトロエンXMのシートも決して例外ではありません。しかしこの固さこそが、幾世紀にもわたって「椅子の文化」を育ててきたヨーロッパの味であり、また長時間運転でも疲れさせない秘訣でもあるのです。例えばフワフワのソファでは同じ姿勢で1時間座り続けることができるでしょうか。苦痛を覚えるはずですが、しかしこの少し固めのXMのシートなら腰をしっかり支え、最良の姿勢に保つため、長時間ラクに座ることができるのです。またバケットタイプのフロントシートには、電動式のスライド、リクライニング、ハイトの各機構を採用。これらの調節がボタンひとつで簡単に正確にでき、つねに最適な姿勢を保つことができます。

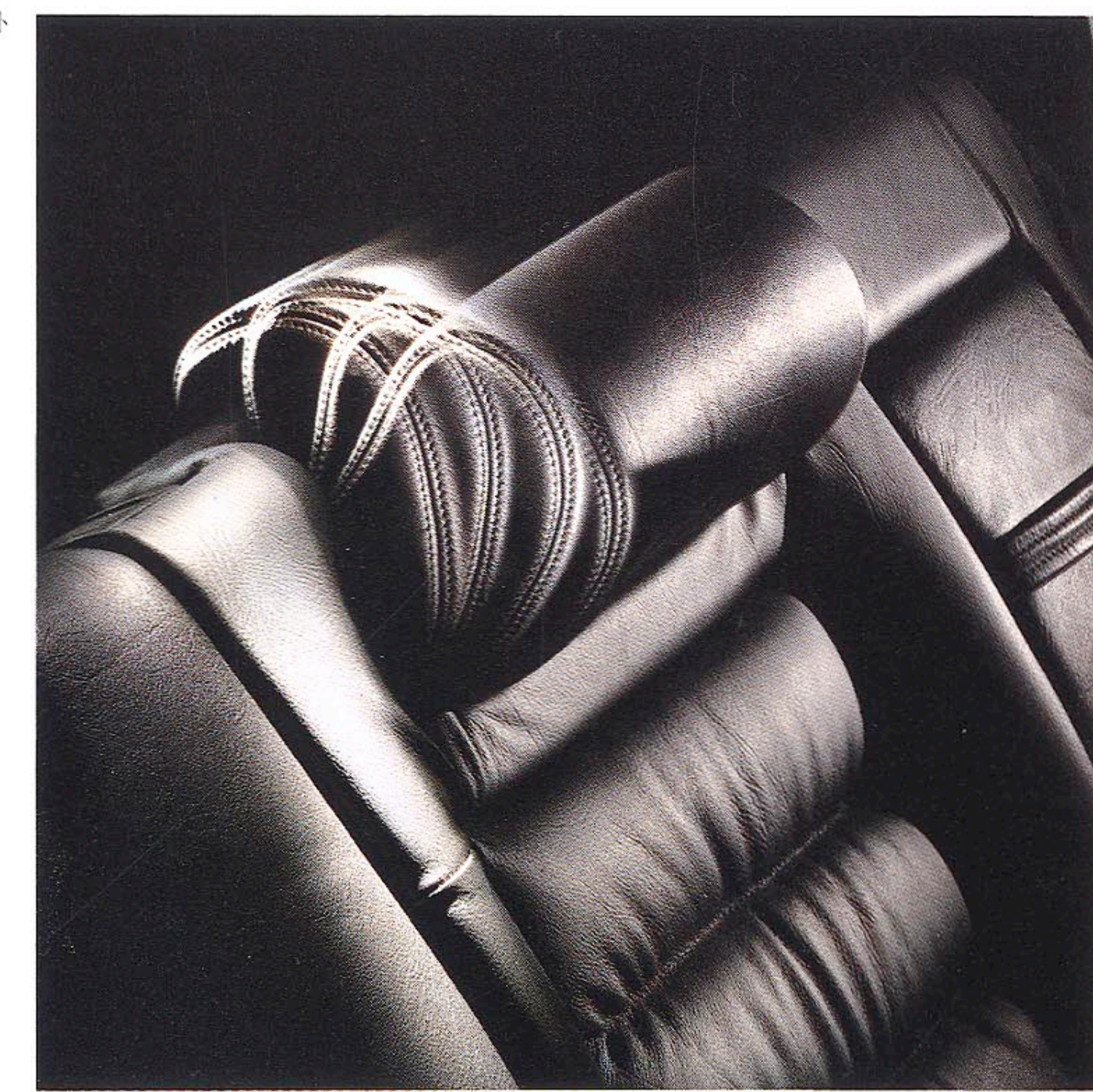
すべての快適性はこのシートから。 ヨーロッパの味。

そしてXMのもうひとつの魅力がリヤスペースです。FF駆動方式とロングホイールベースを有効に活かし、膝スペースをたっぷり確保。ご家族やお客さまもゆったりと足を伸ばしていただけます。もちろんヘッドレスト、センターアームレストも標準装備。そのうえ前席のオートエアコンに加え、後席専用のエアダクトを設けてフェース・レベルの吹出しを好みに合わせて調節できる工夫も凝らしています。同乗される方々にもより快適なドライブ環境を……。後席にも愛情を注いだシトロエンXMです。



リヤコーテシーランプ

リヤヘッドレスト



後席用エアコン吹出し口



シートバックポケット

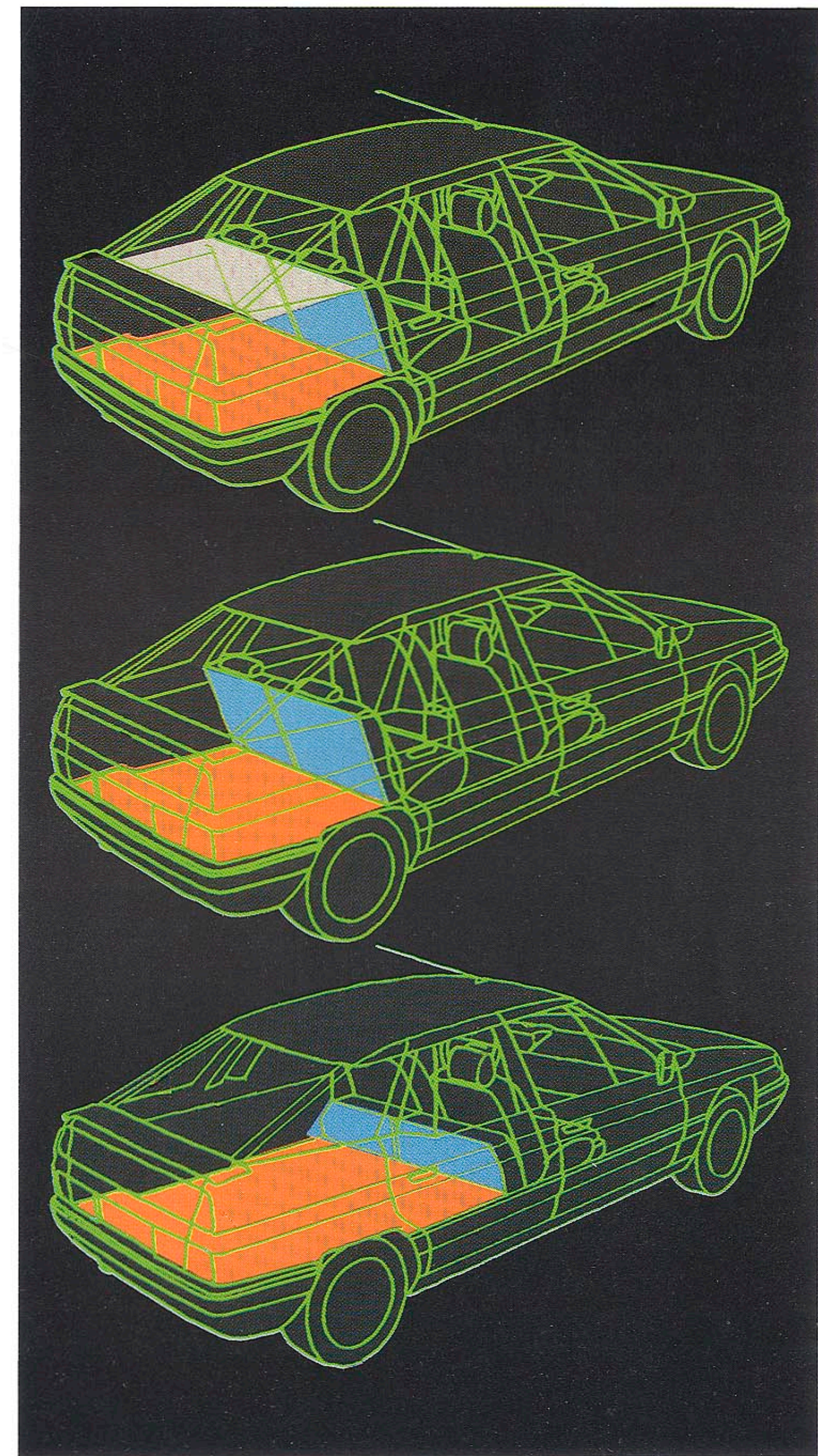


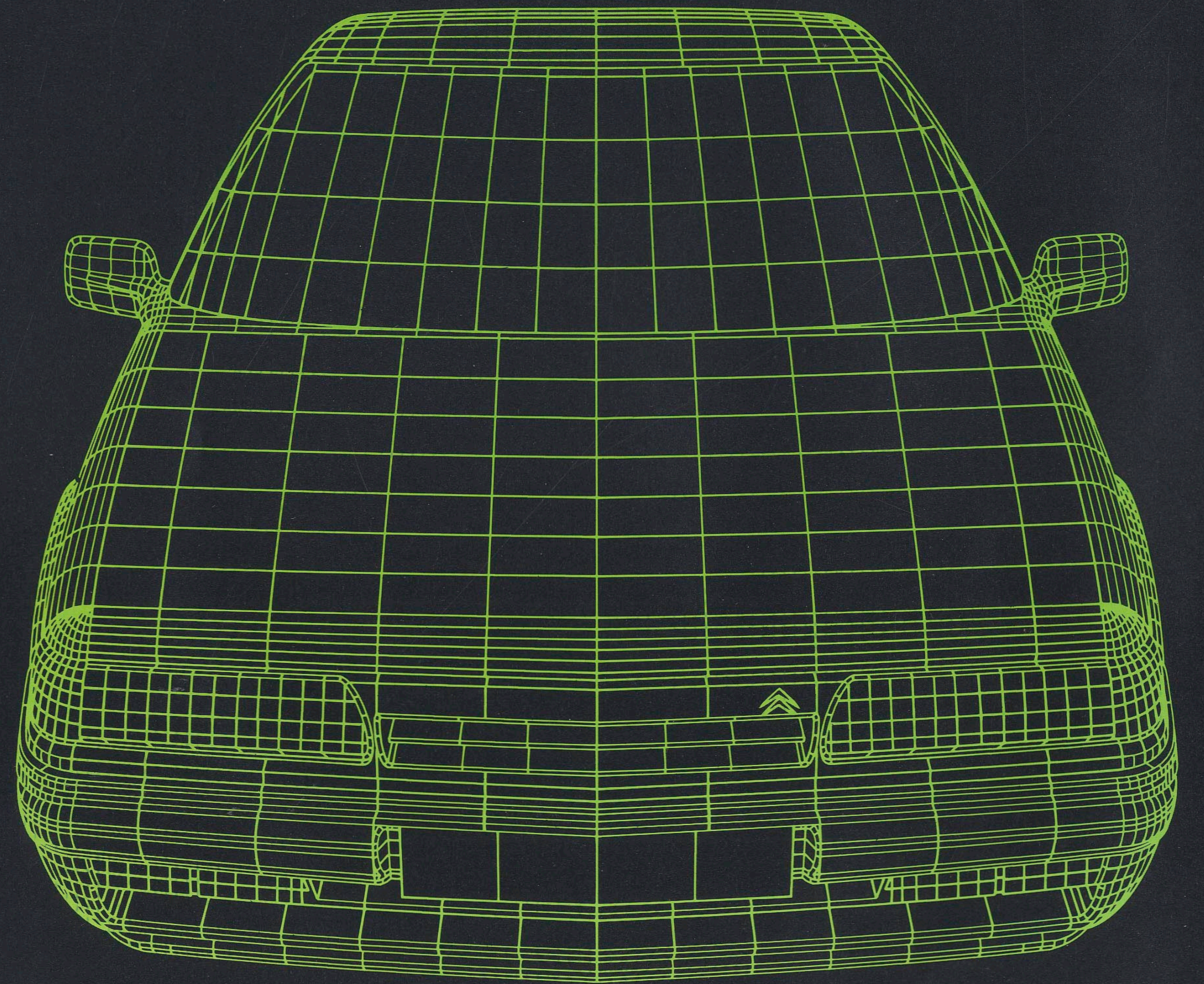
日常の足として、またロングツーリングのパートナーとして、XMは使いやすさも徹底追求しました。例えば収納スペース。キー付きの大容量グローブボックスはもちろんのこと、センターコンソール、シートバックポケット、そして全ドアに内蔵されたドアポケットなど実に多くの収納スペースを持っています。さらにテールゲートを開けると、フラットで広々としたラゲッジルームが広がります。リヤシートを倒せば、そのスペースはさらに広がり、大きなレジャーツールも一気に積み込むことができます。しかもシトロエン独自のサスペンションシステム(ハイコントロール機構、セルフレベルング機構)により、重い荷物を積むときには、車体を地上すれすれまで下げることができ、また重い荷物を運ぶときでも車体をつねに水平に保つことができます。

もっともっと使いやすく。こんなところにもXMの心。

もうお気づきですか。シトロエンXMはリヤシートとテールゲートの間に第2のリヤウィンドーを持っています。このウィンドーが室内とラゲッジルームを区切り、静かで落ち着いた室内を生み出すと同時に、テールゲートを開けたときにも、冷たい風や熱い外気をシャットアウト。つねに爽やかな室温を保ちます。セダンの快適性、静粛性とハッチバックの機能性を併せ持った新しい個性、それがシトロエンXMです。

XM-Xには、使いやすく快適な電動式のガラスサンルーフも標準装備されています。サンシェードを開ければ、太陽だけが室内に降り注ぎます。また室内の換気にはチルトアップ機構が役立ちます。さらにガラスサンルーフをスライドさせれば、爽快なオープンエアドライブを満喫することもできます。電動式ですからこれらの操作はスイッチひとつ。自在でしかも手軽に行なっていただけます。

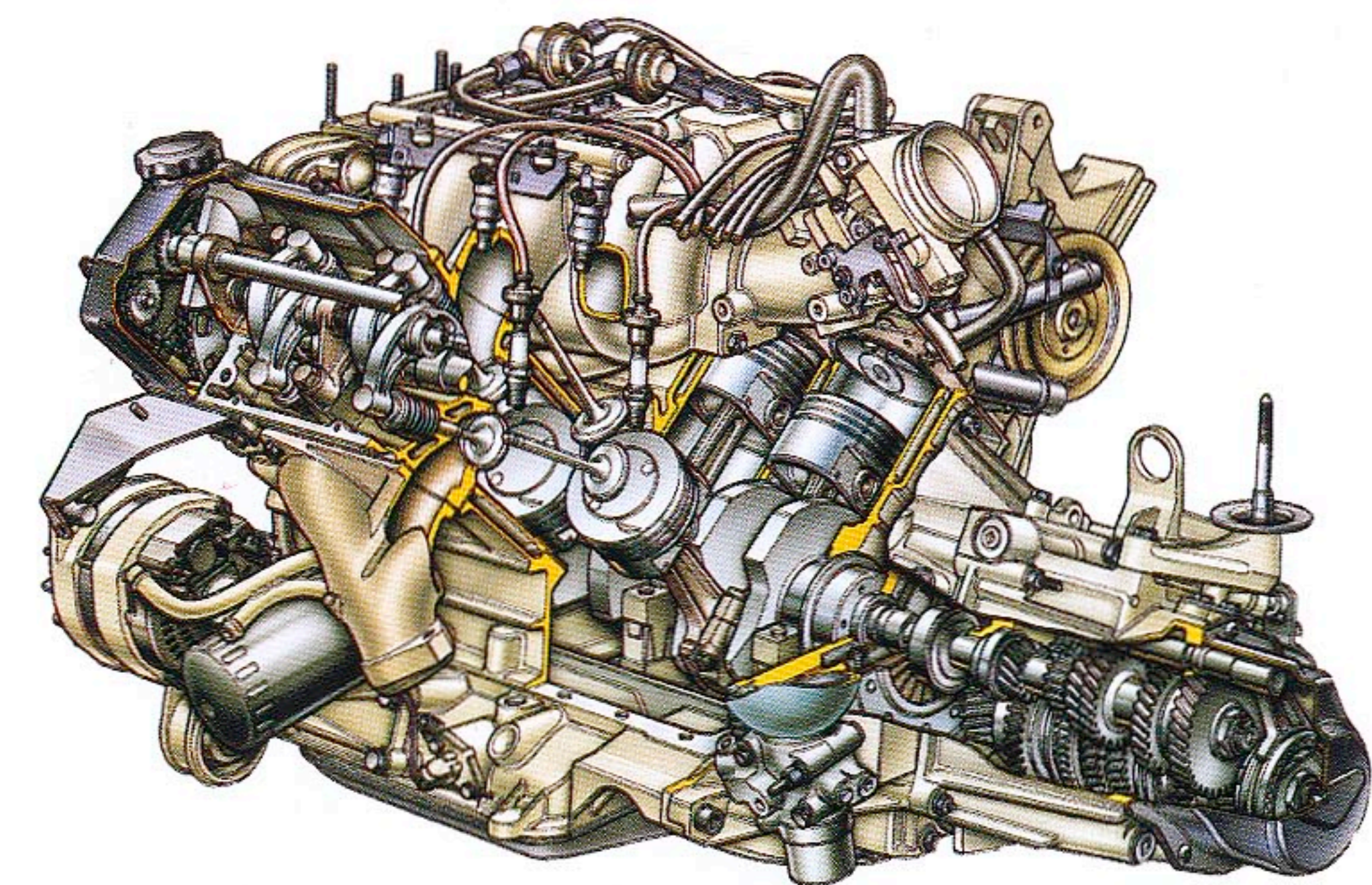




新V6エンジンと新ハイドラクティブサス。シトロエン・テクノロジーの集大成、独創は独走。

V6・3000ENGINE

with ADVANCED ELECTRONIC FUEL INJECTION SYSTEM



V6・3000電子制御燃料噴射の新開発エンジン搭載。

シトロエンXMにはフラッグシップカーにふさわしく(新開発のバンク角90度、V6・3000(総排気量2975cc)エンジンが搭載されています。加えて水温、吸気温度、エンジン負荷、アクセル開度などを検知して最適な燃料噴射と点火タイミングを決定するフル電子制御の燃料噴射システムも採用。DIN表示での170ps/5,600rpm、24.5kg-m/4,600rpmの数値を発揮し、卓越した発進性能(0-400m:16.2秒)、低速域でのピックアップの良さ、アクセルに瞬時に呼応するシャープなレスポンス、そして高速域へのスムーズな吹き上がりを実現しています。

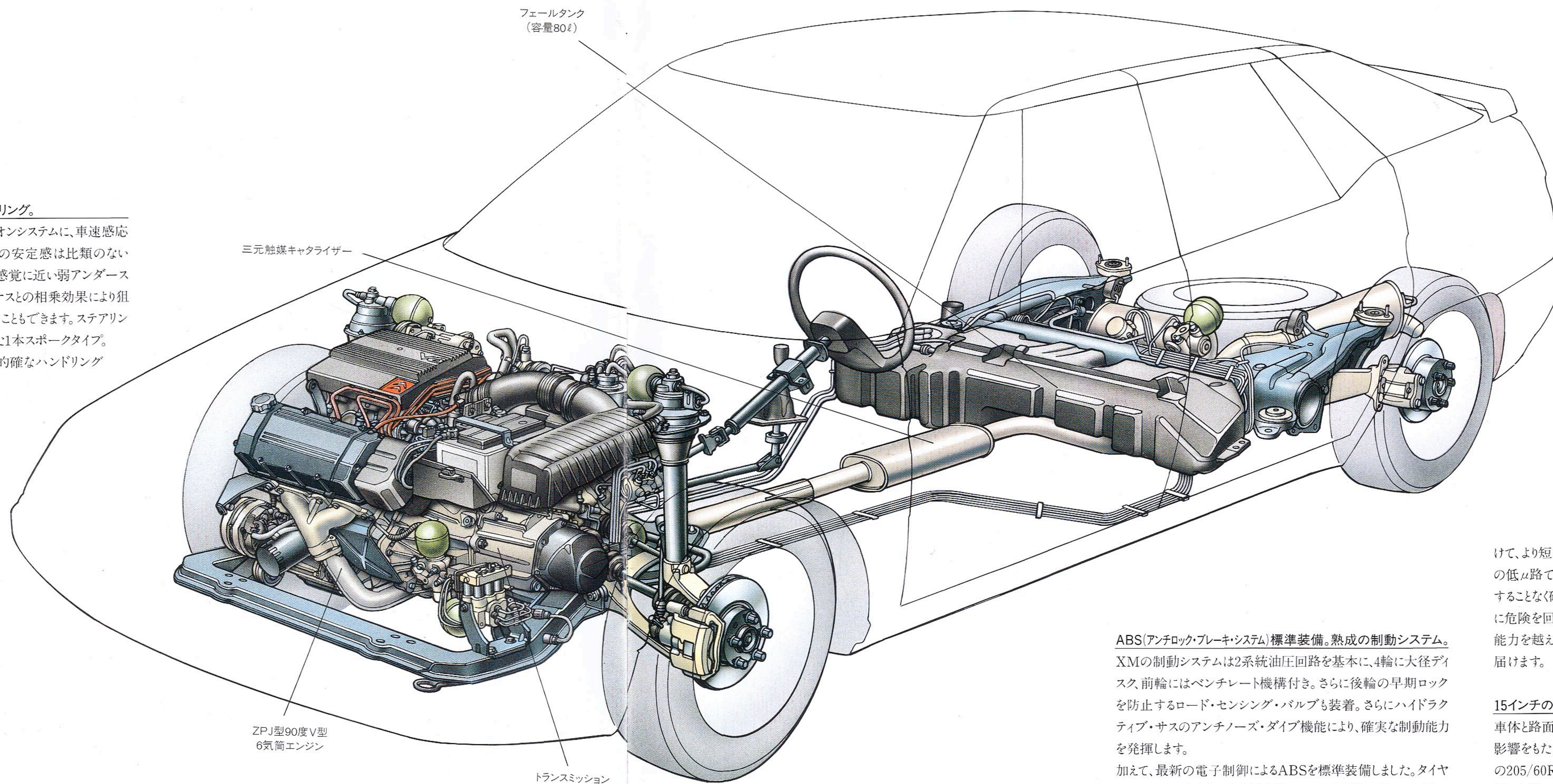
さらにアルミ・ダイキャスト製のシリンダーヘッドをはじめ、エンジン全体を軽合金製として軽量コンパクトを実現しながら、コンピューター解析を駆使して強度、耐久性を追求。またクランクピンのオフセット、バランスシャフトの追加など振動軽減にも新技術を投入し、V8エンジンなみの静粛性とパワーをV6のコンパクトサイズと低燃費で実現。まさにシトロエンの最上級車XMのためのエンジンといえます。

ロックアップ機構付き新設計4速オートマチック。

新設計の4速オートマチックトランスミッションにもシトロエンの新しい技術と英知は投入されています。高速走行時の静粛性、経済性を考え、3速と4速にロックアップ機構を採用。しかも3速のパーシャル・ロック(一定の速度に達したときに直結状態になる)のほか4速ではなんとフル・ロックアップ。従来のオートマチックに見られたパワーロスを大幅に低減。マニュアル車なみの性能と燃費を実現しています。

スポーティセッティングのパワーステアリング。

シャープな切れ味を生むラック&ピニオンシステムに、車速感応式パワーステアリングを装備。高速での安定感は比類のないほどです。またドライバーの考える旋回感覚に近い弱アンダーステア特性を持たせ、ハイドラクティブ・サスの相乗効果により狙い通りの安定したコーナリングを味わうこともできます。ステアリングホイールは操作性、視認性に優れた1本スポークタイプ。XM-Xでは本草巻きて手になじみ、的確なハンドリングを約束しています。



ABS(アンチロック・ブレーキシステム)標準装備。熟成の制動システム。XMの制動システムは2系統油圧回路を基本に、4輪に大径ディスク。前輪にはベンチレート機構付き。さらに後輪の早期ロックを防止するロード・センシング・バルブも装着。さらにハイドラクティブ・サスのアンチノーズ・ダイブ機能により、確実な制動能力を発揮します。

加えて、最新の電子制御によるABSを標準装備しました。タイヤがロックすると同時に油圧を制御しロックを解除しながら、続いて1秒間に10回もの割合で自動的にポンピング・ブレーキをか

けて、より短い距離で停止させます。万一、雪道や濡れた道などの低μ路でハードなブレーキングをした時でも、タイヤはロックすることなく確実に減速しながらステアリング操作で安全、確実に危険を回避することができます。シトロエンXMはドライバーの能力を越えた状況が発生したときにも、積極的に安全、快適を届けます。

15インチのアルミホイール、超偏平60タイヤを装着。

車体と路面の唯一の接点、タイヤの能力は走行性能に大きな影響をもたらします。XMではこのタイヤにも心を配り、ミシュランの205/60R15を採用しました。高いロードグリップに加え、耐久性にも優れています。もちろんアルミホイールも標準装備。バネ下重量の軽減とともに、XMの美しいスタイルを足から引き締めています。

的確に曲がり、確実に止まる。積極的な安全、快適をめざしたXMの基本。

XMのための新開発ハイドラティブ・サスペンション。
 シトロエンを語るうえで独創の「ハイドロニューマチック・サスペンション」を忘れることはできません。1954年「トラクシオン・アバン」に初めて採用されて以来、今日においても、このシステムはシトロエン独自のものであり、またこのシステムを超えるサスペンションはないといえるでしょう。
 シトロエンXMではこのハイドロニューマチックをさらに革新させ、近年ではF1の世界でも応用されている「コンピューター制御により車体姿勢を予知するアクティブサスペンション」のテクノロジーを採用。よりキメ細かく制御する新機能を内蔵しています。

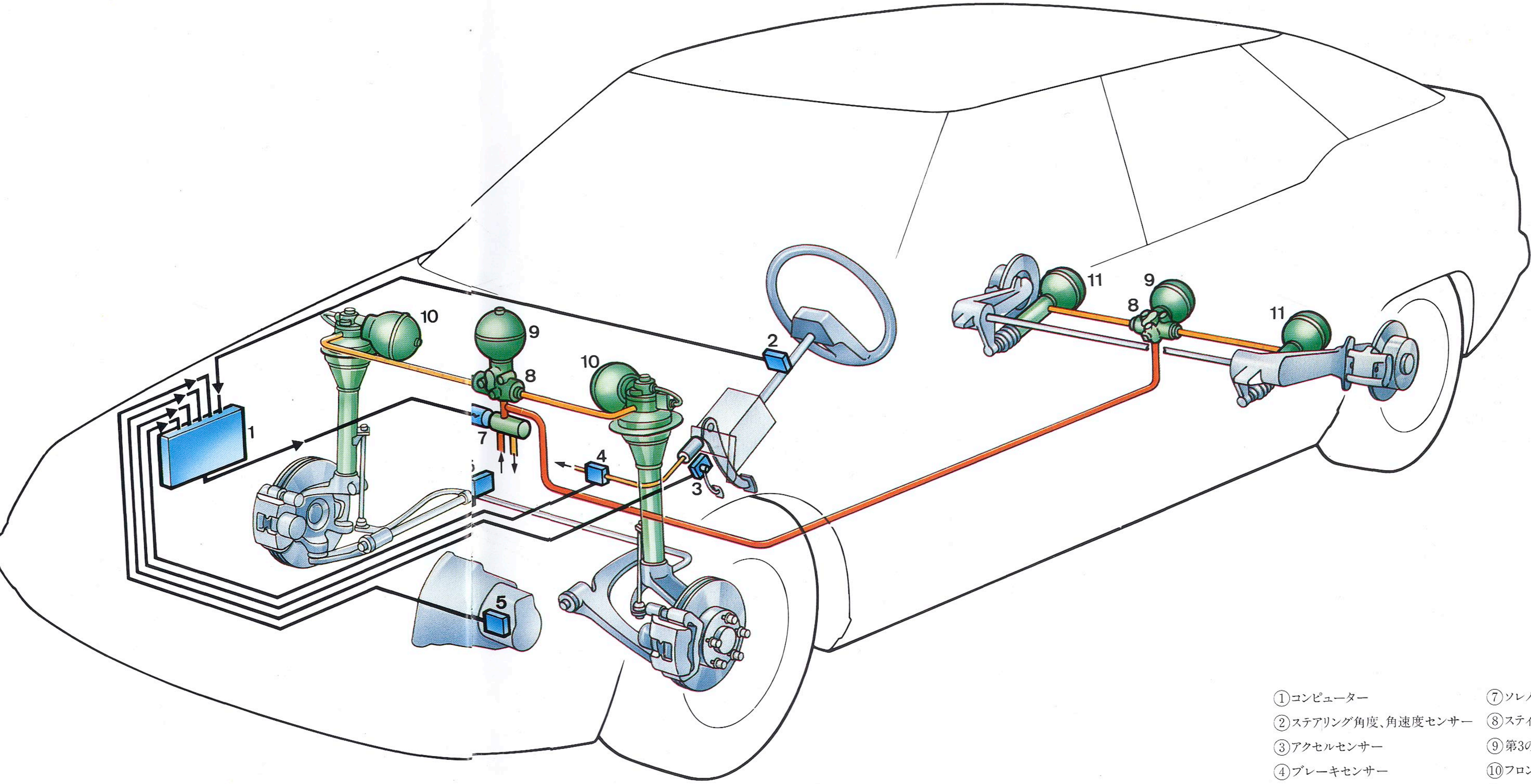
●電子制御アクティブ・サスペンション：最適なロードホールディングと最良の乗り心地を同時に生み出すことが理想的なサスペンションといえます。しかし、最適なロードホールディングを得るためにはハードなスプリングとハードなダンパーが必要となり、一方、最良の乗り心地にはソフトなスプリングとダンパーのソフトな減衰効果が要求されます。この明らかに相反する要求を、コンピューター制御により予知してスプリングと減衰力を同時にコントロールすることで、見事に具体化したものが、シトロエンXMの「ハイドラティブ・サスペンション」です。

●オートモード：センターコンソールのスイッチをオート(AUTO)に設定することにより、通常走行ではスプリング、ダンピングともに柔らかく作動し、路面からのショックと振動をシャットアウト、乗り心地を最優先します。そして一方、ワインディング・ロードやでこぼこ道、あるいは急ハンドルを切ったとき、急ブレーキを踏んだときには、瞬時に(約0.05秒)でスプリング、ダンピングともにハードセッティングに切り替わり、車体のロール、ピッチング、ヨーイングを最小限に抑え、安定した走行と確実なハンドリング、ブレーキングを提供してくれます。
 これは①コンピューターが②ステアリングの角度および角速度③アクセルペダルの動き④ブレーキ⑤車速⑥車体の動き、という5つのセンサーから各種のデータを集め、状況を的確に判断して⑩⑪のフロント&リアのスフィアに追加された⑦ソレノイドバルブと⑨第3のスフィアを作動させ、瞬時にソフトとハードを切り替えるもの。路面の状況やハンドル操作、ブレーキ操作など、車体が反応するよりも早くソフトとハードが替わり、つねにベストな乗り心地と車体姿勢を確保します。

●スポーツモード：もちろん道路状況や好みに応じて、ハードランを望むときには、センターコンソールのスイッチ操作により、スポーツモード(SPORT)に固定することもでき、ロールやノーズダイブの少ないスポーツ走行を満喫していただけます。
 現在採用されている他車のサスペンションシステムが、ダンパーの減衰力だけを制御してソフトとハードを切り替えているのに比べ、このシトロエンXMのハイドラティブ・システムではスプリングとダンパーの両方を瞬時にコントロールします。長年の技術の蓄積と英知から生れた最新、最良のハイドラティブ・サスペンション。まさに「知性を持った足」といえます。

●ハイトコントロール機能：これもシトロエン独自の機構ですが、センターコンソールのレバーを操作すると、サスペンションに供給されるLHMオイルの量が変化して、車高を4段階に調節することができます。通常走行にはノーマル、悪路走行にはハイを選択することで、走行安定性と悪路走破性を両立。そしてタイヤ交換やチェーン装着時、メンテナンス時などにはエキストラハイローが大きな威力を発揮します。

●セルフレベルリング機能：どんな荷重時でも、つまり5名乗車でもドライバーだけの時でも車体はつねに設定された高さを維持し、さらにラゲッジルームにたっぷりの荷物を積み込んだときでも、車体を路面に対して平衡に保つ機構。シトロエン独自の伝統のテクノロジーであり、つねに最良の車体姿勢で安定走行を支えます。



- ① コンピューター
- ② ステアリング角度、角速度センサー
- ③ アクセルセンサー
- ④ ブレーキセンサー
- ⑤ 車速センサー
- ⑥ 車体センサー
- ⑦ ソレノイドバルブ
- ⑧ スティフネスレギュレーター
- ⑨ 第3のスフィア
- ⑩ フロントスフィア
- ⑪ リヤスフィア

高級車にとって、ボディ剛性もひとつの性能。強さが信頼、これからの選択基準。

コンピューターを駆使した信頼の高剛性ボディ。

シトロエンのフラッグシップカーとしての最高級クオリティと卓越の信頼性を作り出すために、XMの設計と開発には延べ440万時間/人が注ぎ込まれました。また通常のプロトタイプによる過酷なロードテストに加えて、製造ラインで実際に生産された100台を使用して長期にわたる大規模な実験も繰り返されました。そしてこれらで得られた豊富なデータを再度、製造ラインへフィードバックし、クオリティと信頼性を極限まで追求して、いま世界に送り届けられているのです。

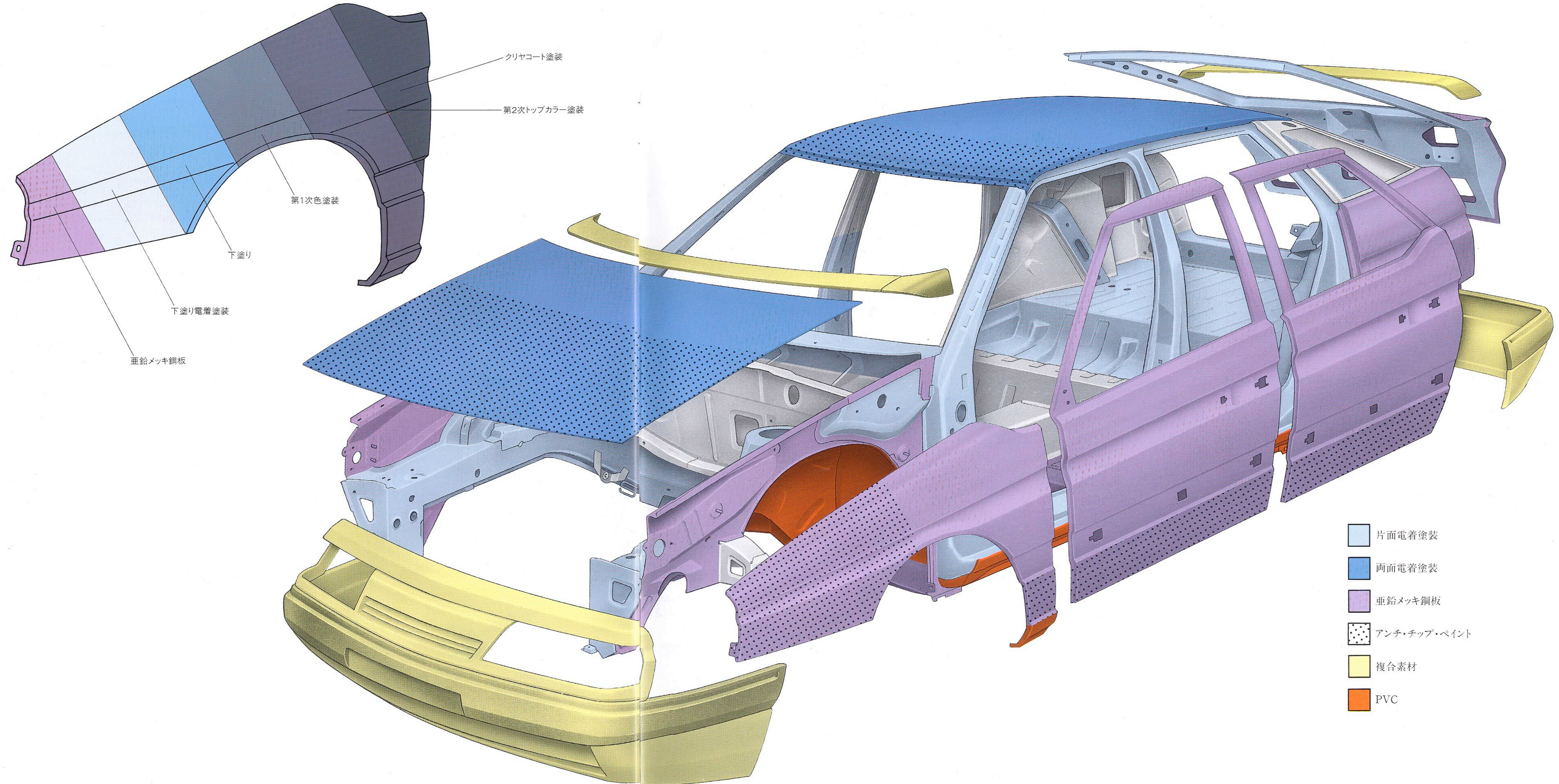
さらにコンピューター解析(CAD/CAM)を大幅に採り入れ、ボディ重量をふやすことなく要所には厚い鋼板や補強材を心置きなく採用し、剛性を飛躍的に向上させることに成功しています。例えばエンジンルーム内に設置された太いフレームからもお分かりいただけるでしょう。これは、万一の衝突時にはボディ前部と後部のクラッシュアブゾーンがエネルギーを吸収し、車室内の乗員を保護するという従来の設計思想を一步進め、さらに強い衝撃を受けた場合には、しっかりとショックを受け止め、しかもそのエネルギーをボディ側面に沿って逃がす設計になっているのです。コンピューターを駆使した設計はまた、ボディのサイドパネルの一体成型を可能にし、トーボードやフロアパネルの最適形状を割り出してボディの振動、騒音の原因を取り除くことにも貢献しています。

より長くより美しく。万全を期した新防錆&塗装対策。

XMの開発に投入された全開発費のうち、20%近くが防錆、塗装システムに使用されました。この比率からもシトロエン車の品質向上に対する意気込み、さらにはレベルの高さをうかがい知ることができるでしょう。

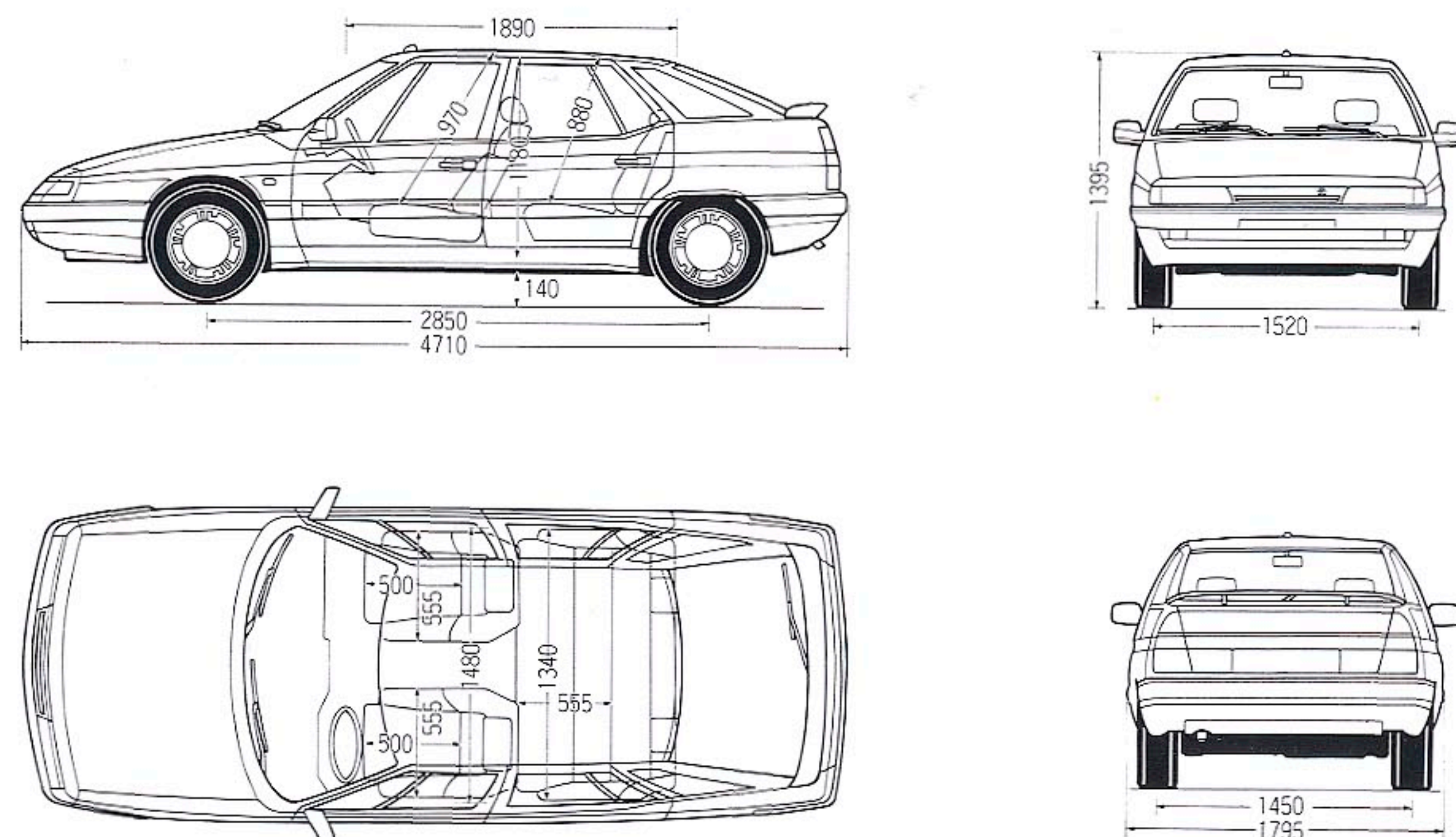
XMではまずボディ鋼板に大量の亜鉛メッキ鋼板を使用。ボディシエルとパネルは亜鉛燐酸処理のあと再び脱脂処理され、次に従来の倍の厚さの下塗り電着塗装が施され、そして第1次色塗装、第2次トップカラー塗装を経て、仕上げにクリアコート塗装が加えられます。亜鉛燐酸処理から数えて実に6層もの処理がされるわけです。そのうえ、ボディ下からウエストラインにかけて全ボディ表面のほぼ50%にもわたってPVC加工が施され、砂利や泥などからもボディを保護しています。

ロボットを投入した専用の生産ラインと、これもまた専用の最新塗装ラインから生れるシトロエンXM。その高品質と信頼性もこれからの高級車の基準といえます。



主要諸元

通称名	シトロエンXM V6	
車名	シトロエン	
型式	E-Y3SF	
エンジン	ZPJ型90度V型6気筒	
変速機形式・変速段数	4速オートマチック	
寸法・重量	全長	mm 4710
	全幅	mm 1795
	全高	mm 1395
	室内長	mm 1890
	室内幅	mm 1480
	室内高	mm 1180(XM-Xは1125)
	ホイールベース	mm 2850
	トレッド前	mm 1520
	トレッド後	mm 1450
	最低地上高	mm 140
重量	車両重量	kg 1480(XM-Xは1510)
	乗車定員	名 5
エンジン	総排気量	cc 2975
	内径×行程	mm 93.0×73.0
	圧縮比	9.5
	最高出力(DIN) PS/rpm	170/5600
	最大トルク(DIN)kg-m/rpm	24.5/4600
	燃料供給装置	電子制御燃料噴射
	燃料およびタンク容量	ℓ 無鉛プレミアム・80
	駆動装置	変速比 1速
	変速比 2速	1.263
	変速比 3速	0.898
	変速比 4速	0.666
	後退	2.589
	減速比	4.277
操向装置	ギア形式	ラック&ピニオン(車速感知式パワーアシスト)
	最小回転半径	m 5.9
懸架装置	サスペンション前	マクファーソンストラット
	サスペンション後	トレーリングアーム
	形式前・後	ハイドラクティブ式
	スタビライザー前・後	トーションバー式
制動装置	主ブレーキ形式	油圧式4輪ディスク(前はベンチレーテッド)
	作動および制動車輪	2系統式(前2輪・後2輪)ABS付
タイヤ&ホイール	タイヤ・前後	205/60R15 91V(ミシュラン)
	ホイール・前後	6JJ-15インチアルミホイール



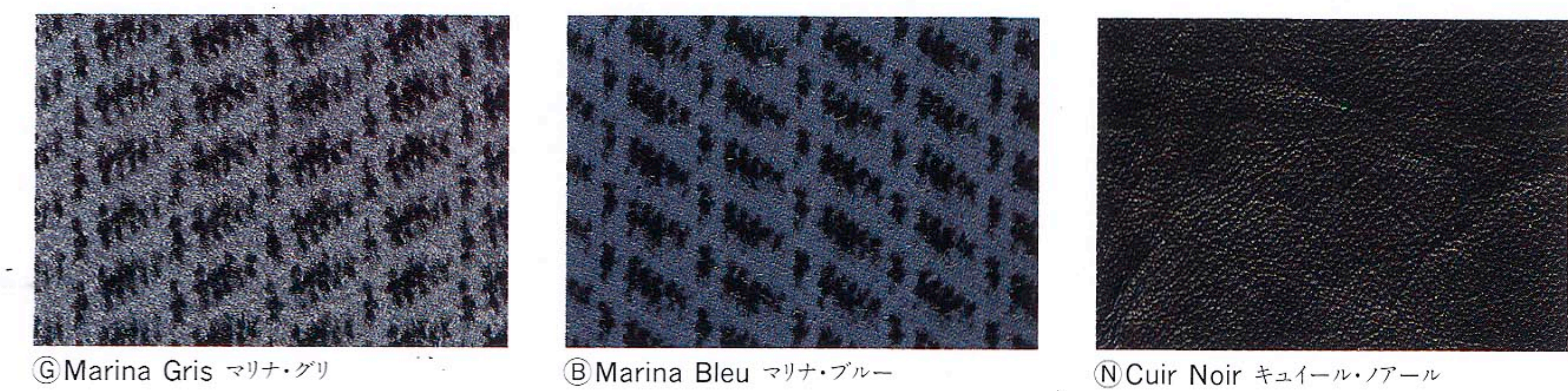
主要装備

機種名	XM	XM-X		
エクステリア	ボディ同色バンパー		○	
	ボディ同色サイドプロテクター		○	
	ボディ同色ドアミラー		○	
	ボディ同色リヤスポイラー	○	○	
	電動リモコン式ドアミラー(熱線入り)	○	○	
	フロントワイパー(可変間欠機構付)	○	○	
	リヤ間欠ワイパー&ウォッシャー	○	○	
	リヤ熱線プリントガラス(自動カットオフ付)	○	○	
	コンプレックスサーフェスハロゲンヘッドランプ	○	○	
	フロントフォグランプ	○	○	
	リヤフォグランプ	○	○	
	電動ガラスサンルーフ	○	○	
	グリーンティンテッドガラス	○	○	
	シートまわり	シート生地	ベロア	本革
		ヒートッドシート(フロント・リヤ)		○
		電動アジャスト機構付フロントシート(スライド・リクライニング・ハイト)	○	○
		サイドサポート		○
電動ハイトアジャスト機構付フロントセンターアームレスト			○	
高さ、角度調整付フロントヘッドレスト		○	○	
可倒式リヤシート		○	○	
リヤセンターアームレスト		○	○	
高さ、角度調整付リヤヘッドレスト		○	○	
フロントELR付3点式シートベルト		○	○(オプション付)	
フロントシートベルトアンカー高さ調整	○	○		
リヤ3点式シートベルト(2名分)	○	○		
インテリア	ウッドパネル		○	
	オートエアコン(温度自動調整)	○	○	
	フルオートエアコン(温度、風量自動調整)		○	
	インフォメーションディスプレイ	○	○	
	タコメーター	○	○	
	水温計、油圧計	○	○	
	警告灯(電圧、冷却水残量、油圧、ウインドーウォッシャー液残量、ブレーキ、冷却水温度)	○	○	
	デジタル時計	○	○	
	リヤパーティションガラス	○	○	
	巻取式リヤカーテン	○	○	
	3点式サンバイザー(左右ハニティミラー付)	○	○	
	強光式ルーフランプ	○	○	
	スポットランプ(フロント・リヤ)	○	○	
	グローブボックス照明	○	○	
	灰皿、シガーライター(リッド付)	○	○	
	ロングパイルカーペット	○	○	
	キー付グローブボックス	○	○	
	フロントドアポケット	○	○	
	ドアアームレスト内蔵ポケット(フロント・リヤ)	○	○	
	フロアコンソールボックス	○	○	
フロントシートバックポケット	○	○		
ドア運動トランクルームランプ	○	○		
ボンネット開閉運動エンジンルームランプ	○	○		
オーディオ	AM/FM電子チューナーラジオ	○	○	
	カセットステレオ	○	○	
	スピーカー数	6	6	
	ルーフ・リヤウインドーアンテナ	○	○	
	ステアリングリモコン	○	○	
機能装備	本革巻ステアリングホイール		○	
	チルト・テレスコピックステアリング	○	○	
	速度感知式パワーステアリング	○	○	
	キーレスエントリーシステム・集中ドアロック	○	○	
	暗証コード式盗難防止装置	○	○	
	パワーウィンドー(運転席ワンタッチ機構付)	○	○	
	後席チャイルドセーフティロック	○	○	
	ドライブコンピューター	○	○	
	ABS(アンチロックブレーキシステム)	○	○	
	ハイドラクティブサスペンション	○	○	
	6JJ-15インチアルミホイール	○	○	
	ラジアルタイヤ(ミシュランMXV2)	205/60R15	205/60R15	

ボディカラー



シートカラー・生地

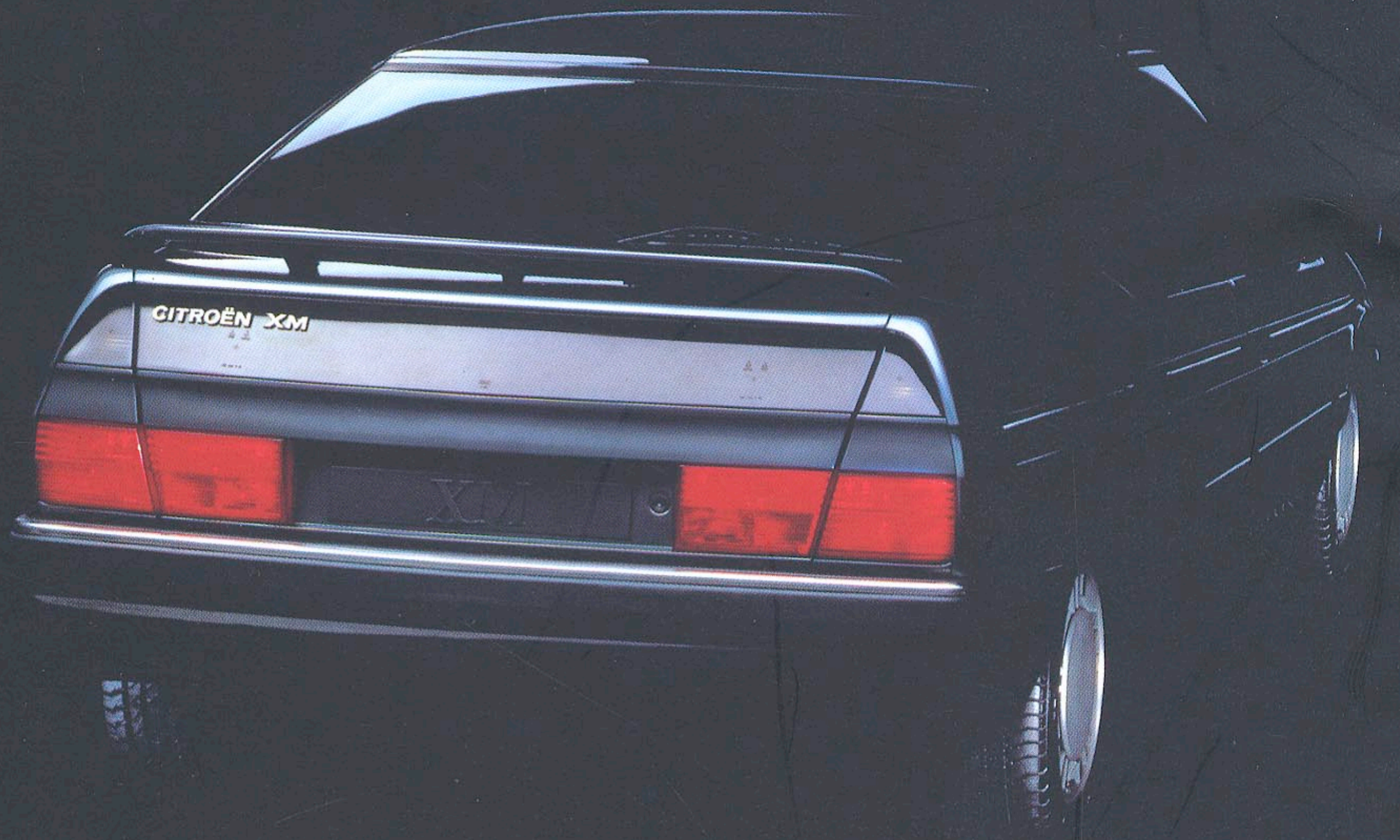


ボディカラーとシート生地との組み合わせ一覧表

	XM	XM-X
パール・ベガ		Ⓝ
ルージュ・マンダラン	Ⓒ	Ⓝ
ノール	Ⓒ	Ⓝ
グリ・メテオール	Ⓒ	
ブルー・メンフィス	Ⓑ	Ⓝ
グリ・ドルメン	Ⓒ	Ⓝ

Ⓒ:マリナ・グリ Ⓑ:マリナ・ブルー Ⓝ:キューール・ノールです。

■道路運送車両法による新型車届出数値。■日本で販売されるクルマの仕様は、細部でカタログ写真と異なる場合があります。■本仕様は改良のため予告なく変更される場合があります。■撮影・印刷条件により、ボディカラーおよび内装色が実車と異なって見えることがあります。詳しくは係員におたずねください。



知性あるモーターライフ

SEIBU

取扱車種 シトロエン・サブ・フジョー
西武自動車販売株式会社

本社	〒171 東京都豊島区南池袋2-34-5	TEL 03(984)1355代
世田谷営業所	〒154 東京都世田谷区桜新町1-32-3	TEL 03(704)1261代
サブショールーム麻布	〒106 東京都港区南麻布1-6-18	TEL 03(457)0891代
サブショールーム砧	〒157 東京都世田谷区砧2-21-1	TEL 03(415)8010代
目白通り営業所	〒165 東京都中野区江原町1-13-22	TEL 03(954)0753代
後楽園営業所	〒112 東京都文京区小石川2-22-2	TEL 03(5684)5501代
板橋営業所	〒174 東京都板橋区東山町2-13	TEL 03(972)7051代
城東営業所	〒124 東京都葛飾区東新小岩2-11-7	TEL 03(695)6711代
府中営業所	〒183 東京都府中市若松町1-36-17	TEL 0423(69)7011代
横浜営業所	〒240 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岡沢町81	TEL 045(331)1481代
東名横浜営業所	〒228 神奈川県相模原市上鶴間985	TEL 0427(41)5111代
浦和営業所	〒338 埼玉県浦和市町谷1-20-20	TEL 048(855)1555代
カーワレージ西武・朝霞	〒351 埼玉県朝霞市膝折町2-11-60	TEL 0484(66)0161代
仙台営業所	〒982 宮城県仙台市若林区遠見塚2-36-18	TEL 022(286)2611代
静岡営業所	〒424 静岡県清水市七ツ新屋321	TEL 0543(45)2201代
京都営業所	〒600 京都府京都市下京区西大路通七条下ル	TEL 075(312)0101代
大阪支店	〒567 大阪府茨木市横江2-5-2	TEL 0726(36)6061代
大阪・八尾ショールーム	〒581 大阪府八尾市光町2-60	TEL 0729(99)0531代
西武ユーストカーセンター・練馬	〒177 東京都練馬区谷原4-7-6	TEL 03(995)2717代
西武ユーストカーセンター・横浜	〒221 神奈川県横浜市神奈川区ミッ沢上町4-4	TEL 045(321)0690代
西武ユーストカーセンター・浦和	〒338 埼玉県浦和市町谷1-20-20	TEL 048(855)1555代

